



さくらたより

令和4年度 学校だより
NO. 13
令和4年9月2日発行
山形市立桜田小学校

運動会スローガン **みんなが主役 心をつないで 限界突破**

今年度の運動会スローガンです。実行委員会が、時間をかけて練り上げました。スローガンには次のような思いが込められています。

みんなが主役

= [一人ひとりが活躍してほしい]

心をつないで

= [協力しないといけない場面で協力してほしい]

限界突破

= [最大限の力を出す。最後まであきらめないでほしい]

結団式

8月29日（月）は、放送による各教室へのライブ配信で“結団式”を行いました。実行委員長の話、組頭の話、応援団員の自己紹介、そして各教室へ出向いた応援団員が、各組のチームリーダーにはちまきを手渡しました。「チーム、よろしく頼みます」と、言葉を添えて。

実行委員は綿密に計画を練り、全校生の前に立ってコトを進めます。今回の結団式も、応援団と連携して、全校生のやる気高める時間をつくりました。全校をあげた2週間の集中した取り組みの始まりです。



赤組スローガン



白組スローガン



各教室ではテレビを視聴

行事で育つ (運動会編)

「行事が子どもたちを育てる」とよく言われます。運動会は、個々、そして集団が育つきっかけとなる絶好の学校行事だと考えています。

体が鍛えられる

競うことを通し、普段の生活より多く体を使います。走力を中心に、全力を出し身体を動かすことで、たくましい体がつくられていきます。1人だけではやらずに過ぎてしまうような運動も、仲間と一緒になら、できます。

心が耕やされ鍛えられる

- 自分と向き合う (やるべき事をやる、全力を出し切る心地よさを味わう等々)
- 仲間と競い合う (潔く負けを認める、勝ってもおごらない等々)
- 仲間と協力する (一緒にものごとを創っていく心地よさを味わう等々)

集団が鍛えられる

役割分担し、自分が担うべきことに責任をもって取り組みます。お互いの持ち味を認め合い、くじけそうになったときには励まし合い、やり遂げることで、みんなで達成感を味わいます。楽しさや苦しさの共有は、集団を強くしていきます。



実行委員の話し合い



応援用具係

係活動に誇りをもって

8月26日の放課後から、運動会の係活動が始まりました。今年度は5・6年生142名が、実行委員、応援団、応援用具、応援看板、放送、グラウンドキーパー、準備運動・誘導、広報・掲示に分かれ、仕事を担い『みんなで創る運動会』を目指します。

放課後は活気に満ちた時間。それぞれが自分の係の仕事に誇りを持ち、楽しんで動き回っています。運動会当日、保護者の方々からはなかなかこの活動が見えてこない係もあるのですが、‘縁の下の力持ち’としてがんばっていることも想像していただきながらご覧ください。



応援看板係

「リーダー」が育つ

子どもたちがあこがれるのが、応援団員やチームリーダーといった役です。立候補し、選んでもらうために「みんなをまとめます。引っ張っていきます。」等の演説をして、選ばれ、みんなの前に立ってコトを進める役を担います。5・6年生は、係活動の中でもリーダーの役を担う子が出ます。

私たち教職員は、運動会を、リーダーを育てる絶好の機会と位置づけていますので、厳しく迫る場面もあります。

私たちが常に念頭に置いているのが — “子どもが自ら主体的に判断して行動できるようにする” ために、教師はどのような働きかけをすればよいのか — です。みんなの前に出たリーダーが何もできずにもじもじしてしまう経験をさせることも、指導の一方法です。その失敗をふり返ることで強くなっていく子がいます。逆に、失敗させないように入念に事前指導する子もいます。

私たちは、個に応じた、指導の手を変えています。ご家庭で、運動会への取り組みの様子を話題にしてみてください。悩みや苦しみも、更に向上するための試練として見守り、そっと背中を押していただけますようお願いします。



グラウンドキーパー係



準備運動係

「フォロアー」も育つ

リーダーだけが育つ行事ではありません。リーダーを支えるフォロアーも育っていきます。「あなたがリーダーね」とはしごに登らせておいて、その“はしご”を支えずにいたら、すぐに倒れてしまいます。はしごを支える、リーダーを支える人たちが大切です。

「やろうよ！」とのリーダーの言葉に対し、いつも反抗的で従わなかったら、リーダーはつぶれてしまいます。また、従順ばかりでもダメで、時にはリーダーにもの申すことで、より良いものが創られていきます。よきフォロアーがいて、集団は高まっていきます。そのフォロアーの育ちのためにも、私たち教職員は、目配り気配りし、指導しています。



放送係



広報・掲示係

リーダーは 入れ替わる

今回は運動会を例に書きました。リーダーとそれを支える人は、いろいろな取り組みをする中で常に入れ替わります。だからこそ、学校では様々な取り組みを行っているのです。運動会では支える側に回った子が、日常の学習でリーダーになったり、たてわり班活動で掃除や遊びのリーダーになったりします。運動会でリーダーだった子が、次は支える立場で指示に従ったりリーダーにもの申すことも経験します。

このようにしてお互いの立場を理解し合い、“その時”に取るべき考え方や行動を学んでいきます。